

# 横浜駅周辺大改造計画

— 創造的大改革へ向けで —



## 横浜駅周辺大改造計画とは・・・

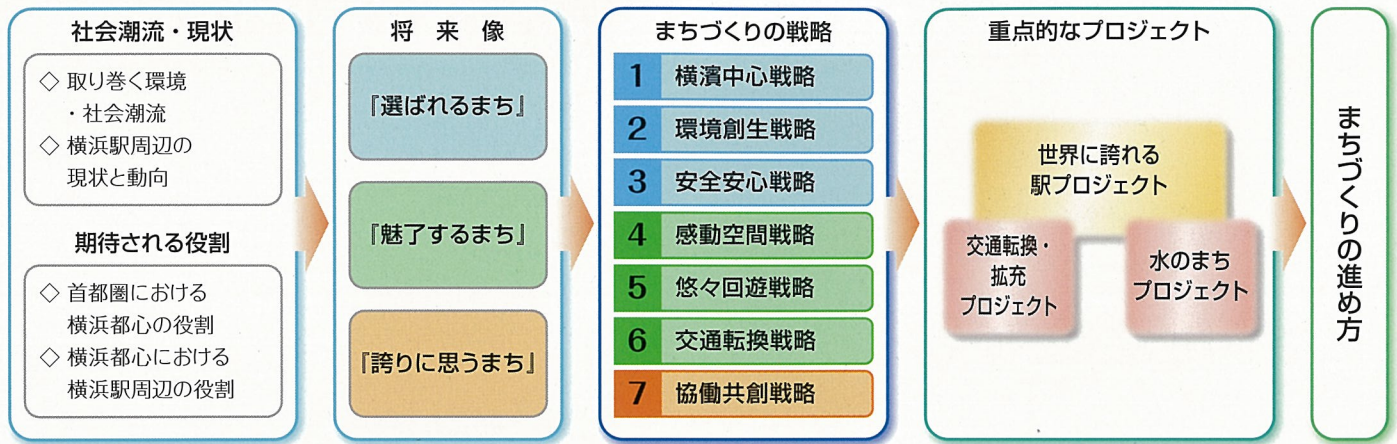
国際化への対応・環境問題・駅としての魅力向上・災害時の安全性確保などの課題を解消し、「国際都市横浜の玄関口としてふさわしいまちづくり」を進めるための指針となる計画です。学識経験者や地元の協議会・事業者、関係行政機関などで構成される「横浜駅周辺大改造計画づくり委員会」等を開催・議論し、概ね20年後のあるべき姿を探りながら、議論を重ねてきました。

平成 21 年 3 月

横浜駅周辺大改造 計画づくり委員会



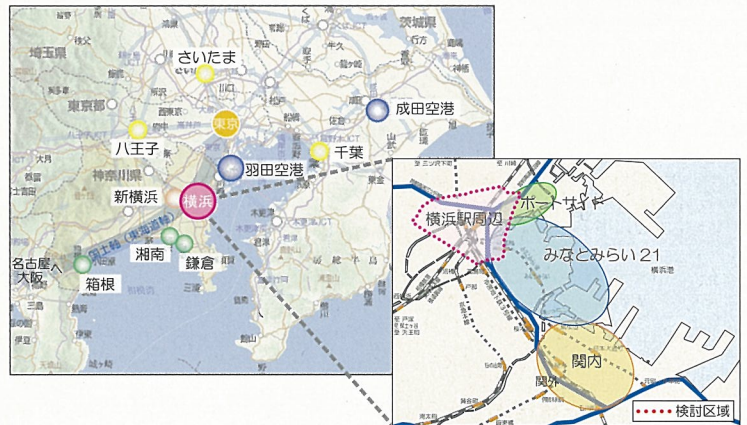
横浜駅周辺大改造計画 素案の構成



横浜駅周辺の位置づけ

「国際都市横浜の玄関口として  
国際競争力のあるまち」

- ◆ 国際化される羽田空港などとつながる、アジアを中心とした国際交流拠点
- ◆ 首都圏南西部の要衝・日本第二位の都市 横浜市中核拠点
- ◆ 首都圏第四位の乗降客数を誇るターミナル駅

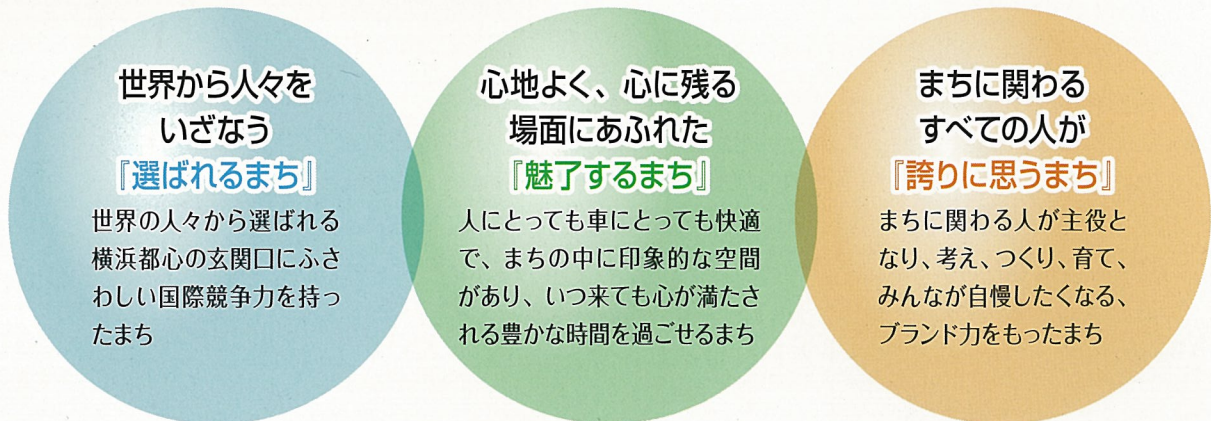


横浜駅周辺が取り組むまちの課題

- ◆ 羽田空港の国際化をきっかけに、世界と競える横浜づくりが必要となります。
- ◆ 地球環境・地域環境の悪化を防ぎ、今まで以上に環境にやさしいまちづくりが必要となります。
- ◆ ひとの乗降の集中する駅にふさわしい魅力の向上が必要となります。
- ◆ 災害に対して安全なまちづくりが必要となります。

横浜駅周辺が、世界の人々の交流拠点を形成し、国際都市の玄関口にふさわしい魅力に満ちた、誇れるまち、となるために、横浜都心が一体となった取組みによる、新たなまちづくりをスタートさせます。

将来像





### 1 横濱中心戦略

～ アジアの交流センターに向け、新たな開港 ～

- 羽田空港への近さを活かし、世界と結ばれた都市活動交流拠点を形成します。
- 国際都市横浜の玄関口を形成します。
- 首都圏における重要な広域拠点としての都市機能が向上します。
- 魅力ある生活・文化が創造されるまちを形成します。

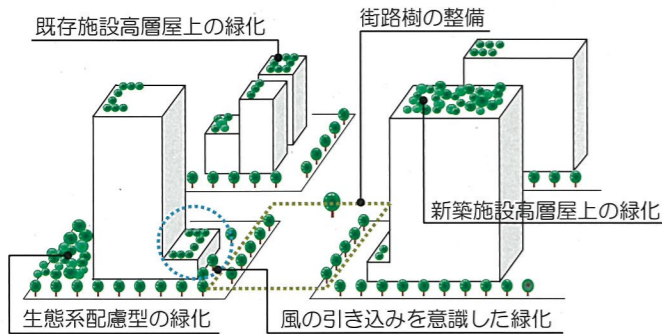
〈横浜駅周辺の機能構成イメージ〉



### 2 環境創生戦略 ～ 横浜発・環境で世界をリード ～

- まちの機能更新に伴って、エネルギー効率が向上し、同時に環境負荷が低減します。
- 水と風と緑を感じられ、うろおいのあるまちづくりを進めます。
- まちぐるみの取組みによって良好な環境を形成します。

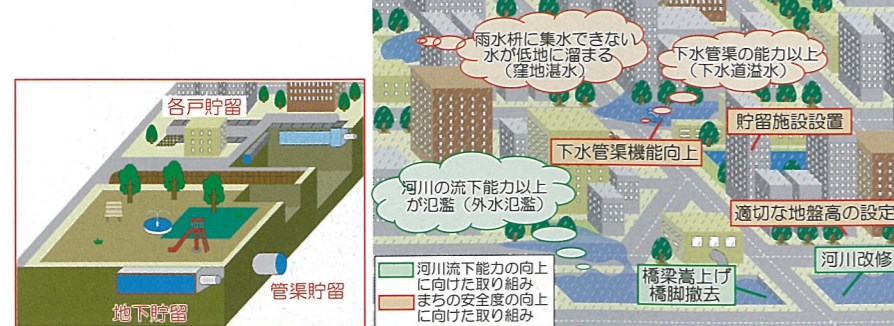
〈重層的な緑の整備イメージ〉



### 3 安全安心戦略 ～ 誰もが安心して集える場へ ～

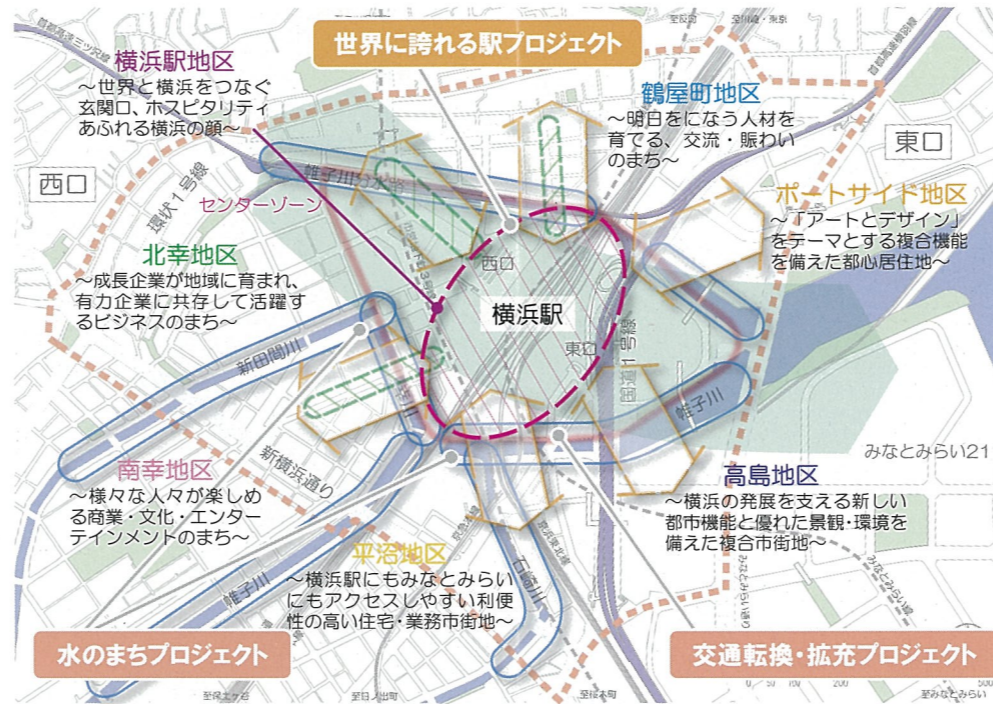
- 民間と行政が連携・協力しながら都市防災機能を強化します。
- ひとの力を活かし、まち全体で「安全・安心」な体制をつくります。

〈浸水要因とその対策イメージ〉



まちの将来像を実現するためには、将来を見据えた段階的な取組みが必要となります。そのためには、社会の変化やまちの成長に合わせ、柔軟な取組みを行っていくことが重要です。この、まちの将来像を実現するための取組みの“基本的な考え方・方針”を、まちづくりに関わる皆さんで共有する『まちづくりの戦略』とします。

〈将来の市街地構造〉



- 高次機能が集積し、高度かつ立体的な土地利用によるセンターゾーンの形成
- センターゾーンを包み、親水性の高い、魅力ある市街地をつくる水辺空間「ターミナル」としての横浜駅とその隣接街区の機能強化（コアの形成）
- コアと周辺、隣接地区（みなとみらい21地区等臨海部、内陸）との連携強化
- 個性的な通り空間の形成
- 海及び臨海部と内陸部をつなぎ人や空間の新しい流れを形成

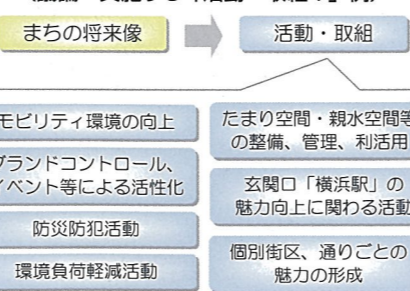
※センターゾーンとは、交通施設整備や商業・業務施設の集積を中心に、高度利用を図るエリアのことで、重点的に戦略等に取組んでいく、横浜駅周辺大改造の中核となるエリアとなります。

### 7 協働共創戦略 ～ みんなでつくり、はぐくむ ～

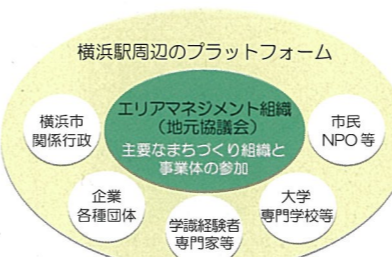
- まちづくりを担うエリアマネジメント\*組織と、まちづくりに関する議論を行う、みんなが主体のプラットフォームを形成します。
- 地域が主体となったエリアマネジメントを進めます。
- 活動と成果・検証等を繰り返し行うことでまちの価値が向上します。

\*エリアマネジメントとは、一定のまとまり（エリア）において、更なる連携を図り、地域の課題解決や地域価値の向上等に取組み、地域の特性を表現した魅力あるエリア（地域）としてマネジメント（運営）していく活動のことです。

〈議論・実施する「活動・取組み」例〉

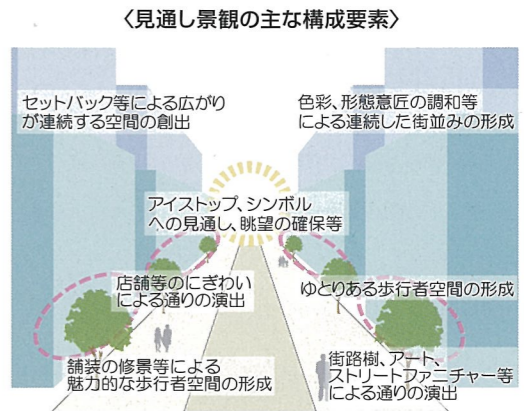


〈エリアマネジメント組織の設立とプラットフォーム（議論の場）の形成イメージ〉



### 4 感動空間戦略 ～ 忘れられないシーンを演出 ～

- 周辺市街地とのつながりを大事にした、横浜の玄関口にふさわしい、新たな都市空間を創ります。
- 水辺や通りなど、この地区ならではの特徴を活かした、横浜らしさを感じることでできる景観を形成します。



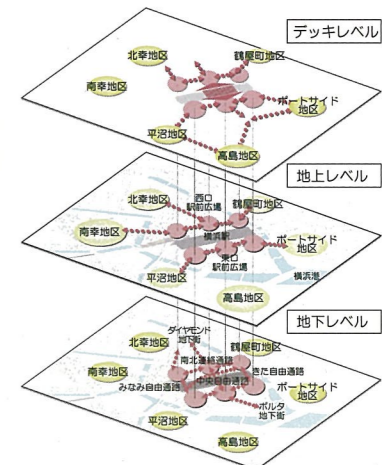
### 5 悠々回遊戦略 ～ ハマ時間を満喫できる境界の創造 ～

- 駅を中心に駅東西の行き来が円滑になり、駅周辺を一体的に楽しめるようになります。
- 全ての人が、歩きやすく、わかりやすい歩行者空間を形成します。
- 横浜駅周辺ならではの個性と魅力が感じられる「通り」を創出します。

〈歩行者の回遊空間イメージ〉



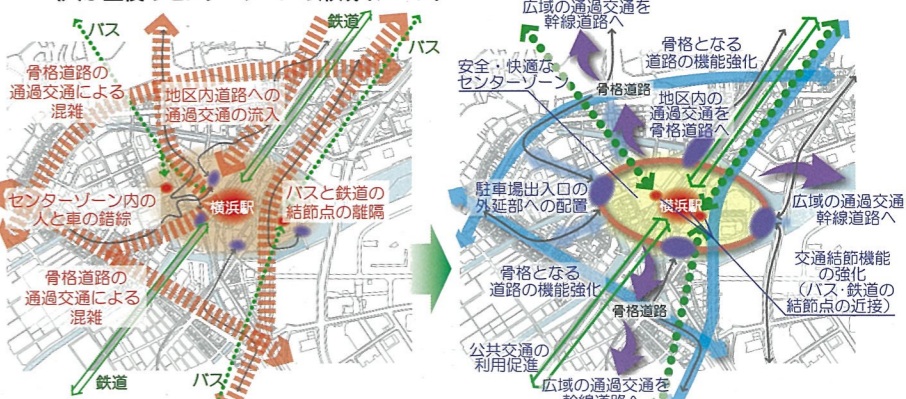
〈歩行者空間の立体イメージ〉



### 6 交通転換戦略 ～ 公共交通の利用促進 ～

- 駅を中心に、交通の結節点としての機能を総合的に強化します。
- 公共交通を優先した、様々な交通施策を展開します。
- 歩行者と自動車が錯綜しないまちとなります。

〈人が主役のセンターゾーンの形成イメージ〉





# 重点的なプロジェクト

ビジョン・戦略を踏まえて大改造計画実現に向けて重点的に取り組むプロジェクトとして、駅を中心とした「コア」※において展開される「世界に誇れる駅プロジェクト」を柱に、それを下支えする「交通転換・拡充プロジェクト」と「水のまちプロジェクト」を展開していきます。

※コアとは、国際都市横浜の顔にふさわしい空間・機能・環境の整備を一体的に進める、駅とその隣接街区です。

## 世界に誇れる駅プロジェクト

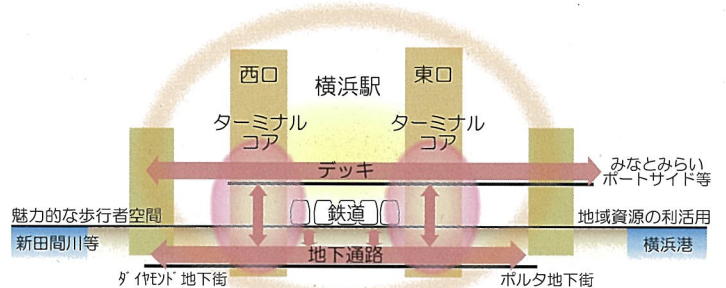
交通転換・  
拡充プロジェクト

水のまち  
プロジェクト

### ○ 世界に誇れる駅プロジェクト

- ① 国際的な拠点・広域的な拠点として、駅機能を強化します。
- ② 統一感のある、象徴的な景観をつくります。
- ③ 水（海・川）が感じられる駅をつくります。
- ④ 連絡デッキによって、駅と海、駅東西の回遊性が向上します。
- ⑤ 魅力的な「ターミナル・コア」※を創出します。
- ⑥ 世界の人々を迎えるためのホスピタリティが充実します。
- ⑦ 駅と建物が一体となり、環境配慮への取り組みを実践します。

〈センターゾーンにおける“コア”を中心とした空間及びネットワークの形成イメージ〉

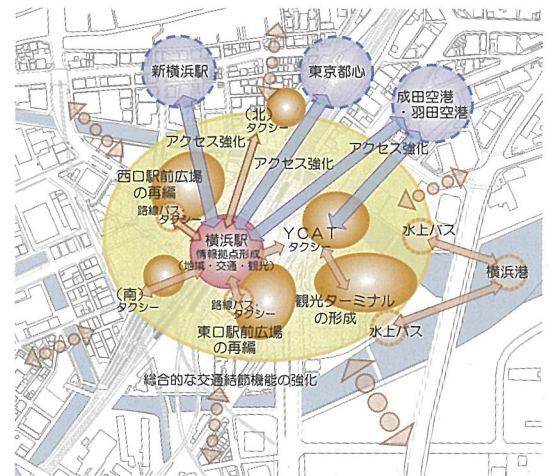


※ターミナル・コアとはデッキ・地上・地下の移動や回遊、賑わいを円滑に分かりやすく結ぶ、象徴的な結節空間です。

### ○ 交通転換・拡充プロジェクト

- ① 広域的な交通機能を強化します。
- ② 横浜駅及び東西の駅前広場が再編され、便利になります。
- ③ 観光拠点を形成します。
- ④ 幹線道路を整備し、駅周辺の骨格となる道路の機能を強化します。
- ⑤ センターゾーン内へ入ってくる自動車交通が適正に処理され、円滑になります。
- ⑥ 荷捌き用の車両や自転車等が適正に利用され、円滑になります。

〈総合的な交通結節機能強化・交通施策のイメージ〉



### ○ 水のまちプロジェクト

- ① 横浜駅周辺に相応しい治水安全度を確保します。
- ② 魅力ある親水空間を創出します。



〈親水空間の整備イメージ〉

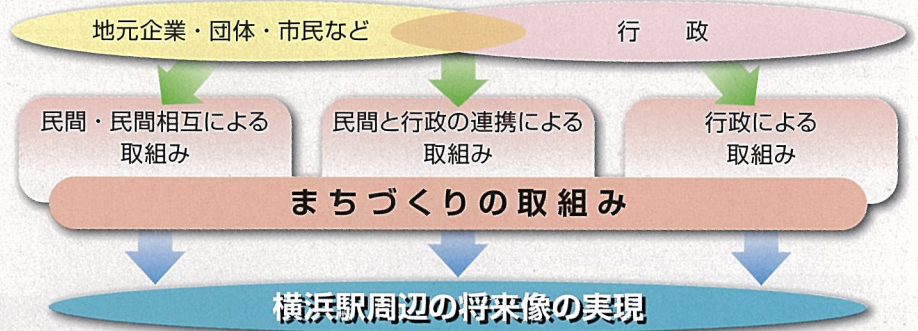
〈浸水対策イメージ〉



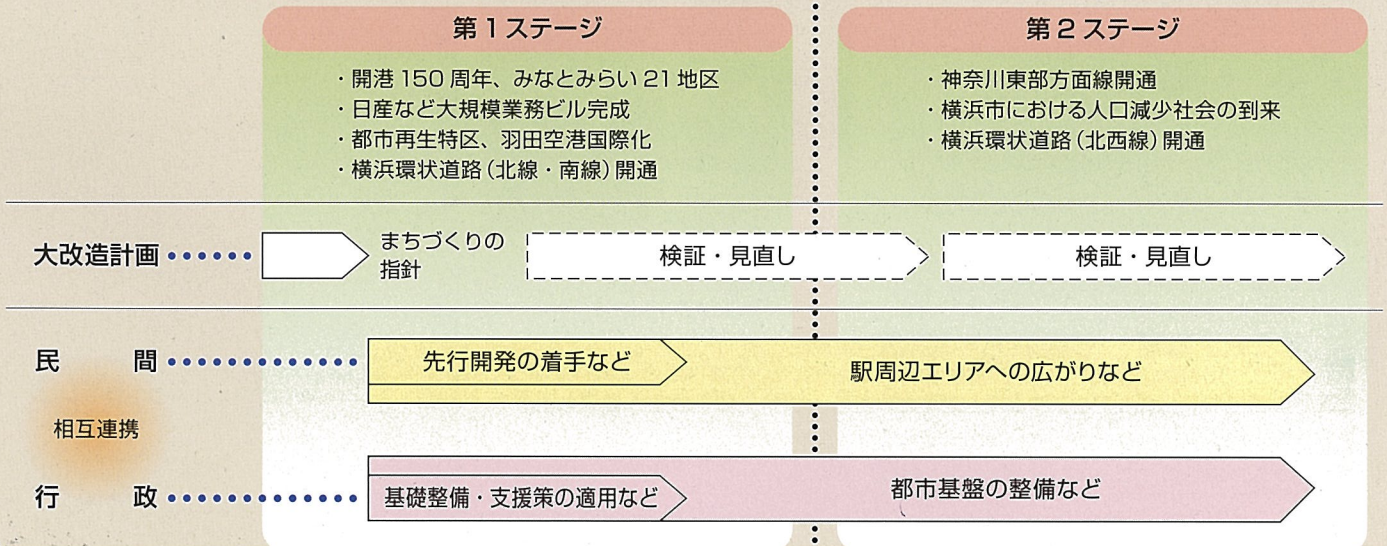


## まちづくりの進め方

横浜駅周辺は、様々な施設が高密度に集まっている地区であり、限られた空間や資金を効果・効率的に活用してまちづくりを進めるため、個別の取組みのみではなく、関係者みんなで連携、協働した取組みが求められます。

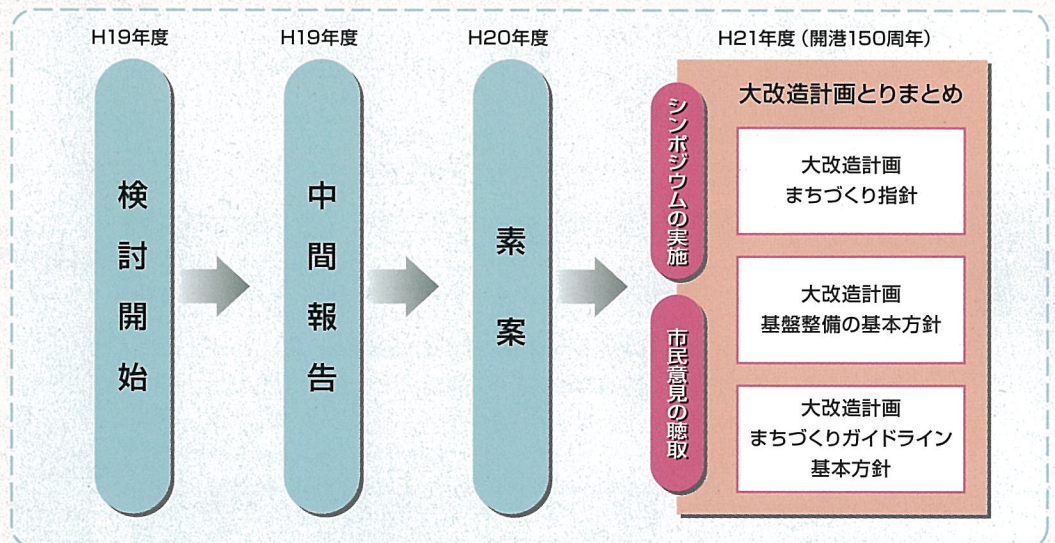


### ◆ まちの成長とあわせた 民間と行政の相互連携した取組み



## 横浜駅周辺大改造計画 検討のスケジュール

H20年度にまとめられた『大改造計画 素案』を基に、皆さんの意見や議論を参考にし、今後、大改造計画をとりまとめていきます。



このパンフレットは横浜駅周辺大改造計画づくり委員会が作成しました。

**素案に対するご意見は下記の連絡先までお寄せください。**

横浜駅周辺大改造計画づくり委員会事務局 横浜市都市整備局 都市再生推進課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1

TEL 045-671-3857

FAX 045-664-7694

E-mail [tb-tosai@city.yokohama.jp](mailto:tb-tosai@city.yokohama.jp)

<http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/tosai/daikaizou/>



横浜開港150周年

このパンフレットは資源の有効利用と環境保全のため再生紙と大豆油インクを使用しています。

横浜市広報印刷物登録 第200717号

種別・分類 C-JJ080

